

(2022 年 5 月 22 日公開)

2022 年 6 月 15 日

11 月祭事務局

第 64 回 11 月祭の日程変更の提案

1. 概要

第 62 回京都大学 11 月祭全学実行委員会で承認された第 64 回 11 月祭の日程と、大学が発表した第 64 回 11 月祭の日程が異なっていることが発覚した。具体的には、全学実行委員会では 11 月 23 日（水）～26 日（土）の日程が承認され、これを大学に提案したが、大学が公表したアカデミックカレンダー上での 11 月祭の日程は 11 月 19 日（土）～22 日（火）となっていた。これを受けて 11 月祭事務局（以下、事務局とする）は、大学に理由を確認した。

2. 大学の意見

大学からは、以下の回答が得られた。

- ・曜日振り替えの数を少なくするために変更した。
- ・曜日振り替えを行うと、非常勤講師の取り扱いが複雑になるので避けたい。
- ・曜日振り替えを行わない場合、後期の終了が一週間遅くなるので、入試の準備や卒論などの論文の審査に影響が出るので避けたい。

3. 事務局の見解

第 62 回京都大学 11 月祭全学実行委員会にて承認されて大学へ提案した第 64 回 11 月祭の日程が、大学によって全学実行委員会に確認がとられることなく変更されたことは、11 月祭の主体的な開催に関わる大きな問題であると認識する。

しかし、4 日間の開催が保たれていること、実務上大きな問題がないこと、大学が説明した根拠が妥当であることなどから、大学の公表した日程でも 11 月祭の開催に大きな支障はないと判断した。また、今年度に関しては、開催形態についての大学との交渉が大きな課題であり、これについて早急に大学と話し合いを進める必要がある。

これらのことを総合的に考慮し、事務局としては日程に関する問題よりも、11 月祭の対面開催の実現に向けた交渉を優先していくべきであるという判断に至った。

今回の件を踏まえ、今後 11 月祭の開催に大きな影響を与えうる事項については事務局を通じて全学実行委員会に確認をとるよう、また必要であれば話し合いの場を設けるよう大学に対して求める所存である。

4. 提案

第 64 回 11 月祭の日程を、2022 年 11 月 19 日（土）～22 日（火）（片付け日は 11 月 23 日（水））にすることを提案する。